

項目	確認事項	届出内容	
基本情報	大学等名1(代表大学等)	杏林大学	
	大学等名1(代表大学等)※カナ	キョウリンダイガク	
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103876	
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都	
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学	
	科目名	インターンシップⅠ・Ⅱ	
	学部・研究科等名	総合政策学部	
	担当教職員名・役職	藤原 究・准教授	
	受講者数実績年度	令和2年度	
	受講者数※インターンシップ参加者数	17	
	受入企業等数	30	
	受入企業等名	羽村市、府中市、三鷹市 他 計30社	
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ	
		8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ	
9.中小企業でのインターンシップ			
10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ			
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)			
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい	
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事	
		2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)	
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容		
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業ごとに接客などの就業体験や、業務を模擬体験する。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい	
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している	
		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している	
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している	
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容		
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年	
大学 学部3年			
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 4単位		
2-5.上記回答内容に関する詳細	2・3年生の学生を対象に夏季休業期間中のインターンシップ実習を組み合わせた科目「インターンシップⅠ・Ⅱ」として前期・後期に実施している。本科目では、学生の幅広い教養、ビジネス・ベーシック・スキル、ライフデザインスキルを養うことを目的としている。		
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい		

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	企業研究、ビジネスマナーの講義（6回）、パソコンに関する講義（2回）を実施している。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	就業体験内容や自身で設定した目標の達成度を振り返るために、インターンシップ後に企業担当者を招いた報告会を実施している。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細		
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ参加前後に学生の意識を確認するアンケートを実施している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	実施期間が2～7日間の企業も授業内での事前事後学習を含め計5日間以上の実施を確保している。
	5-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ受入期間は、企業により2日～7日間となっている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	事後学習内で実施する報告会に企業担当者を招き、学生へ評価をいただいている。

	6-3.上記回答内容に関する詳細	企業担当者からインターンシップ参加学生への評価報告書を提出してもらっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/center/career/graduate/">http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/center/career/graduate/</a>
問い合わせ先	大学等名	杏林大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	尾又 綾子
	電話番号	0422-47-8010
	メールアドレス	<a href="mailto:recruit@ks.kyorin-u.ac.jp">recruit@ks.kyorin-u.ac.jp</a>